

下呂農林事務所の普及活動状況 令和7年2月28日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■下呂地区青年農業士会 先進農家視察及び意見交換会

下呂地区青年農業士会では、令和6年度から新たに4名の会員を迎えて、現在9名の会員が在籍しています。今年度は、新入会員の意見交換会・歓迎会に始まり、飛騨支部との合同研修、市内での異業種交流など積極的な活動を行っています。

2月20日には、関市の(有)むげがわ農産（矢田代表）、郡上市の(有)ノウカノミカタ（奥村代表）を訪問し、農業経営の中でも特に労務管理での工夫や苦労したことについて経営者の話を聞き、意見交換会をしました。



出席者からは、「時代に先んじた労務管理体系の構築に感銘を受けた。良い物を作ることと働きやすさの両立は今後の農業に必須と感じ、取り入れていきたい。（(有)むげがわ農産視察）」「経営者として計画の立案と実行に徹底する姿勢に感動した。農業を一般企業レベルに引き上げるという理念が大変参考になった。（(有)ノウカノミカタ視察）」などの意見や感想があり、今回学んだことを自らの経営改善に繋げられる有意義な研修となりました。

今後も農業普及課では、会員の熱い要望に応え、充実した青年農業士会活動を支援していきます。



【先進農家視察の様子】

(地域支援係)

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■水稻法人経営体 「ぎふ清流GAP」取得に向けた支援

農業普及課では、持続可能な農業を実現するため、土地利用型法人経営体を中心に「ぎふ清流GAP評価制度」の周知と、同GAPの取得に向けた支援を行っています。

下呂市金山町を中心に稻作経営を行う(有)すがたらいすでは、「ぎふ清流GAP」の取得に向けてこれまで準備を重ね、2月12日にぎふ清流GAP推進センターによる農場評価を受検しました。



【農場評価の様子】

農場評価では、農業生産に潜む様々なリスクの洗い出しとともに、対応手順や管理計画が定められているか、必要な書類や記録が作成されているか、決められたルールや法令に沿って農業生産活動が実施されているか等の項目について評価が行われました。

評価員からは、ほ場の危険箇所を作業者で共有したり、作業用倉庫内に転落防止柵を設置するなど、事故防止の取り組みがしっかりとされているとの評価でした。

農業普及課では、今回の農場評価結果による是正の実施を支援し、同法人におけるGAPの取組み強化を図っていきます。

(地域支援係)

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■下呂市スイートコーン研究会 次年度に向けた検討会を開催

2月27日、下呂総合庁舎で下呂市スイートコーン研究会(会員数13名)の検討会を開催しました。

検討会では、来年度の新役員の選出や昨年度から取り組んでいるふるさと納税の返礼品についての状況報告がありました。また、来年度から新役員主体で研究会のブランドである「南飛騨コーン」を使ったアイスクリームの試作を行う予定であることも共有されました。



【検討会の様子】

アイスクリームの試作については、実際に販売を始めるまでの問題点等が数多く出されましたが、取組みを支持する意見が多く、ブランドの知名度向上に積極的な姿勢が伺えました。

農業普及課からは、今年度の栽培状況など各生産者から聞き取った実績や反省点等について、資料にまとめて情報提供を行ったほか、今年度の浮き彫りになった課題点を踏まえ、新たに栽培マニュアルに追記する事項についても提案を行いました。農業普及課からの情報提供を受け、出席した生産者からは栽培管理の工夫や問題となったことなどの話があり、活発な意見交換の場となりました。

農業普及課では、来年度の栽培について引き続き指導を行うとともに、来年度から取組みを始めるアイスクリームの試作などについても情報提供するなど支援をしていきます。

(地域支援係)